

## 2021年度第2四半期の自動車部品工業の経営動向

2021年11月1日現在の会員企業数429社のうち、上場企業かつ自動車部品の売上高比率が50%以上であり、前年同期比較が可能な62社について、2021年度第2四半期（2021年4月1日～2021年9月30日の累計）の経営動向を決算短信より集計・分析。62社のうち49社は日本基準適用企業、13社はIFRS適用企業だが、ここでは便宜上合算している。

### 1. 経済・事業環境の概況

#### <世界の自動車販売台数、自動車生産台数と状況>

- 2021年度4月～9月の自動車販売台数は、累計で3,897万台となり、前年同期から約229万台増（前年同期比6.3%増）、新型コロナウイルス感染症流行前の2018年度同期と比較すると約686万台減（18年度同期比15.0%減）。
- 2021年度4月～9月の自動車生産台数は、累計で3,682万台となり、前年同期から約204万台増（前年同期比5.9%増）、新型コロナウイルス感染症流行前の2018年度同期と比較すると約1,016万台減（18年度同期比21.6%減）。
- 国内販売累計：204.8万台（前年同期比1.1%増）
- 完成車輸出累計：181.0万台（前年同期比24.5%増）
- 国内生産累計：355.9万台（前年同期比7.2%増）
- 為替レート：2021年4～9月（期中平均）対ドル：109.8円、対ユーロ：130.8円、対中国元：16.9円

### 2. 2021年度第2四半期業績（62社合計）

単位：億円	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	2018年度		2020年度	
					同期差	同期比	同期差	同期比
売上高	125,286	123,369	92,132	114,598	-10,688	-8.5%	22,466	24.4%
営業利益	6,997	5,321	-2,007	5,111	-1,886	-27.0%	7,118	—
営業利益率	5.6%	4.3%	-2.2%	4.5%	-1.1pt	—	6.7pt	—
親会社株主に 帰属する当期純 利益	4,426	3,356	-2,360	3,349	-1,077	-24.3%	5,709	—
当期純利益率	3.5%	2.7%	-2.6%	2.9%	-0.6pt	—	5.5pt	—

※新型コロナウイルス感染症の影響を、年度を通じて受けていない2018年度と比較。

- 前年同期比では、昨年の新型コロナウイルス感染症による経済停滞の反動もあり、「増収増益」。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2018年度比では、半導体不足や東南アジアでのコロナ感染症の拡大による部品供給難に伴う自動車生産の減産、原材料価格の高騰の影響で「減収減益」。

### 3. 2021年度通期の業績見通し（60社合計）

※2社が業績予想を「未定」に変更

単位：億円	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 見通し	2018年度		2020年度	
					実績差	実績比	実績差	実績比
売上高	250,199	237,584	215,040	237,946	-12,252	-4.9%	22,906	10.7%
営業利益	12,980	6,235	7,100	12,794	-186	-1.4%	5,694	80.2%
営業利益率	5.2%	2.6%	3.3%	5.4%	0.2pt	—	2.1pt	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,045	3,284	4,923	8,583	-462	-5.1%	3,660	74.3%
当期純利益率	3.6%	1.4%	2.3%	3.6%	0	—	1.3pt	—

※新型コロナウイルス感染症の影響を、年度を通じて受けていない2018年度と比較。

○前年度との実績比較では、「増収増益」となる見通し。売上増ならびに各社の固定費削減・合理化努力等が影響し、利益は大幅に回復。2018年度との実績比較では、第2四半期までの自動車生産の減産や原材料価格の高騰の影響により「減収減益」となる見通し。

#### 【参考資料】

#### 前年度比較

##### （1）2021年度第2四半期：売上高と営業利益の動向（62社合計）

(社数・構成比率)		営業利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	59社	95.2%	1社	1.6%	60社	96.8%
	減収	1社	1.6%	1社	1.6%	2社	3.2%
	計	60社	96.8%	2社	3.2%	62社	100.0%

○2021年度第1四半期（4月～6月）が好調であった為、2021年度第2四半期（7月～9月）の業績が落ち込んだものの、前年同期比では「増収増益」となる企業が9割以上を占めている。

##### （2）2021年度の通期業績見通し：売上高と営業利益の動向（60社合計）※2社が業績予想を「未定」に変更

(社数・構成比率)		営業利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	52社	86.7%	4社	6.7%	56社	93.3%
	減収	3社	5.0%	1社	1.7%	4社	6.7%
	計	55社	91.7%	5社	8.3%	60社	100.0%

○新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった前年度に比べ、約9割の企業が、「増収増益」となる見通し。ただし、業績予想を「未定」に変更した企業もあり、先行きは不透明感がある。

**2018 年度比較****(3) 2021 年度第 2 四半期：売上高と営業利益の動向（62 社合計）**

(社数・構成比率)		営業利益					
		増 益		減 益		計	
売上高	増 収	6 社	9.7%	4 社	6.5%	10 社	16.1%
	減 収	13 社	21.0%	39 社	62.9%	52 社	83.9%
	計	19 社	30.6%	43 社	69.4%	62 社	100.0%

○半導体不足や東南アジアの新型コロナウイルス感染症によるサプライチェーンの混乱による自動車の減産影響があり、約 6 割の企業が「減収減益」となった。

**(4) 2021 年度の通期業績見通し：売上高と営業利益の動向（60 社合計） ※2 社が業績予想を「未定」に変更**

(社数・構成比率)		営業利益					
		増 益		減 益		計	
売上高	増 収	8 社	13.3%	3 社	5.0%	11 社	18.3%
	減 収	16 社	26.7%	33 社	55.0%	49 社	81.7%
	計	24 社	40.0%	36 社	60.0%	60 社	100.0%

○自動車減産の影響により、約 8 割の企業が「減収」となるが、固定費削減・合理化努力などにより、営業利益は 4 割の企業が「増益」となる見通し。

以上